

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表: 令和4年1月21日

事業所名 てくてく教室

保護者等数(児童数)15人 回収数15人 割合100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
				どちらとも いいえ	いいえ			
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				広くていいと思う。	安全面第一にスペースに配慮していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1			先生方が一人一人を見てくれるのでいいと思う。	専門的な支援ができるように研修会に参加しスキルアップを図ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14			1		子どもたちの動線を考慮した環境を整えます。バリアフリーへの対応は対象児童が通所する場合に配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				生活空間はできていると思う。	遊具・道具などの消毒・掃除等に配慮し、安全に活動できる空間を作っていきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	15					ニーズに合わせて、わかりやすい計画を作成していきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15					個別支援計画の説明はしているがガイドラインについて、もっと詳しく説明して、理解してもらおうにします。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15					支援計画に沿った支援内容を詳しく保護者に説明するようにします。
	8	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	15				子供の情緒に合わせて行う場面があり、本人も満足している。毎月色々な活動で楽しい。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	1		2		子ども同士の交流で「わからない」の回答あり。交流の機会を設けるのは難しいが検討していきます。
保護者 への 説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					利用開始時に説明を実施。その後の説明もするようにします。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15					支援計画同意書作成の時に説明を行っているが、更に詳しく、丁寧に説明するようにします。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	14	1			親が不安に思うことに対して親身に聞いてもらい、子育ての意欲に繋がる。	事業所でペアレント・プログラムを実施していることを知らせている。対象保護者を募るのが難しい。個別に支援を行うようにしている。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15				連絡帳以外に送迎時や懇談会時に話し、伝え合いができる。	懇談会時・送迎時・連絡帳等で、引き続き共通理解を図るようにします。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15				担任と連絡帳で話し合える環境が有り難い。	引き続き面談・支援を続けます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15				保護者同士でも、いろいろお話しが聞けているので助かっています。	月1回の懇談会で、もっと話す時間がほしいとの要望については検討していきます。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15					苦情受付や相談窓口を設置していることを知らせる。随時相談に応じ、支援ができるように配慮していきます。	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				子どもの意見や保護者の意見・要望を聞き、支援に繋げるようにしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15				毎月発行の便りで事業所の情報を知らせ、ホームページでも情報を公開していることを保護者に知らせていきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15				保護者にも個人情報遵守を依頼し、職員も個人情報遵守を徹底していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	1		6	懇談会やクラス便り等で知らせたり、マニュアルを掲示したりしていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			1	地震・火災・津波の避難訓練を実施していることを知らせていきます。事後報告書や写真を掲載していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15				親子共々、てくてく教室に精神的に助けられています。
	23	事業所の支援に満足しているか	15				満足している。 子どもや保護者が満足できるような支援をしています。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。